

2012年4月23日

広島国際大学が『自校教育』 4月から新入生対象の基礎ゼミで

広島国際大学（秋山實利学長）は、来年度開学15周年を迎えるのを機に、このほど自校教育教材を編纂し、この4月から新入生対象の「基礎ゼミナール」の授業の中で自校教育を始めました。「基礎ゼミナール」は今年度、15コマのうち1コマを自校教育に充て、3月には全教員を対象に説明会を開き、4月11日から各学部順次授業が進んでいます。

歴史を学ぶ。個性を知る

『広島国際大学読本』

90周年を迎える常翔学園が設置する大学として、その歴史を学び、本学の個性を知ってもらうための自校教育教材、『広島国際大学読本』（A5判34頁、カラー刷。5,350部印刷）は、「世のため、人のため、地域のために、理論に裏づけられた実践的技術をもち、現場で活躍できる専門職業人を育成する」という学園の建学の精神から始まり、広島国際大学の創設の経緯とその後の発展の歴史、大学の機能と役割などを、基礎データとともにわかりやすく解説し、「建学の意義」、「大学史」、「自校の研究成果」を学生に理解してもらいます。

大学を理解し、将来の職業に対する自覚促す

学生には将来の職業、資格取得を目指し、学生生活において専門的知識・技術の修得に注力してもらいたいと考えています。自校教育において、学園・大学の歴史、大学の使命を伝えることにより、愛校心、帰属意識を涵養して、学生自身が本学で学ぶことの意義を考え、自信を持って学修に取り組む機会を設け、技術に長けているだけでなく、心豊かな思いやりのある専門職業人として、将来の職業に対する自覚と誇りを醸成してもらう計画です。

■内容に関するお問い合わせ・取材の申し込み先

広島国際大学 企画課（担当：末政） TEL：0823-70-4922

添付文書 なし 発信枚数：本書含め1枚